

平成26年4月8日

福岡市政記者各位

福岡市経済観光文化局 創業・大学連携課

**全国的にもめずらしい、福祉分野での産学官連携教育！
西南学院大学での福祉ビジネスプラン作成授業の実施について**

この度、福岡を中心に福祉分野での情報管理・共有システム構築に取り組んでいるITベンチャー企業の(株)ウェルモと連携し、福祉分野のマネジメント感覚を養う授業が西南学院大学人間科学部社会福祉学科において開講することとなりました。

この授業では、介護福祉業界の経営者の方々をパネラーとして招きケーススタディを行うとともに、ビジネスプランの作成を通し、福祉分野におけるマネジメント能力を持つ人材を創出します。

産学官が連携して教育を行うという、全国的にもめずらしい授業となりますことから、ぜひ取材していただきたくご案内いたします。

記

1 授業概要

授業科目名 福祉情報演習Ⅱ

日時 4月10日から7月24日までの毎週木曜日（ただし、5月15日は除く。）
15:10～16:40（4時限）

担当教員 井手順子

※日時については変更となる場合があります。

2 参考資料

資料1 産学官連携教育のイメージ

資料2 福祉情報演習Ⅱシラバス

【問い合わせ先】

福岡市経済観光文化局 新産業・立地推進部

担当： 駒田，藤本

電話：092(711)4637（内線2528），ファクス：092(711)4354

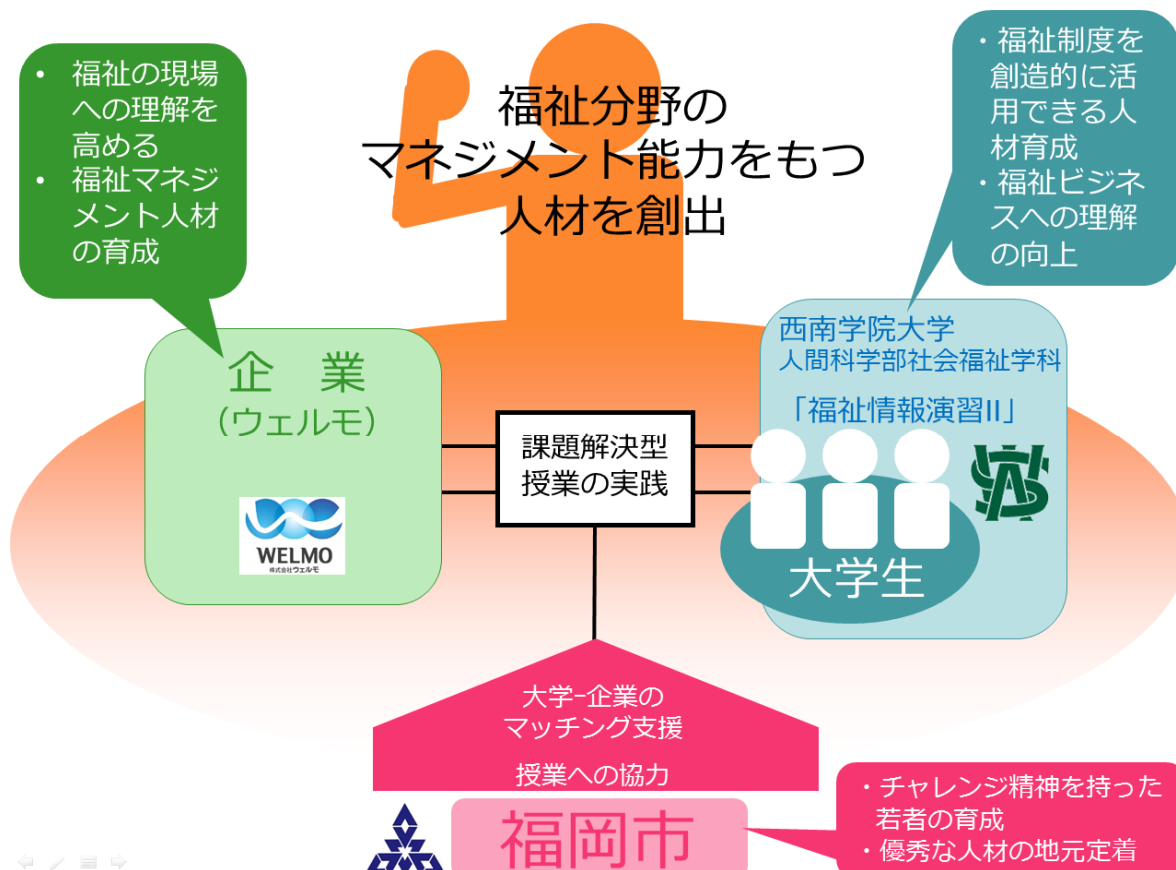
西南学院大学 人間科学部社会福祉学科 担当：安部

E-mail：kazuhiko@seinan-gu.ac.jp

株式会社ウェルモ 担当：鹿野，原

電話：092(791)4649 ファクス：092(791)4648

産学官連携教育のイメージ



福祉情報演習Ⅱ ～資金調達から福祉分野における社会課題解決のベンチャー企業創造と事業計画立案～ 各法人の代表、理事長、さらに金融機関や行政の方を招聘し、福祉における企業創造及び経営手法を学ぶ

各講義の構成として、60分パネラーから講演後、教員をファシリテーターとして30分のグループワークにより各学生の消化を促進させる形式にて講義を進める

時間(木曜)

15:10-16:40(4限)

No	講義計画	講義内容	パネラー	講義目的	日付
1	イントロダクション講義概要/ソーシャルビジネス概要(1)	イントロダクション ソーシャルビジネスと福祉業界における経営の必要性	福岡市経済観光文化局新産業・立地推進部長 駒田 株式会社ウエルモ 株式会社ウエルモ 代表取締役 鹿野佑介	福岡市経済観光文化局新産業・立地推進部長 駒田からの挨拶、株式会社ウエルモのビジネスモデル解説、グループワークメンバー決め、講義の趣旨についての説明、福祉における経営管理の重要性への理解	4月10日
2	ソーシャルビジネス概要(2)/グループワーク(2)	課題解決手法とマネジメントの立場から解決できること、ロジカルシンキング等や各フレームワーク、ICT導入等、経営管理概要	株式会社ウエルモ 代表取締役 鹿野佑介	問題解決方法の1つとしてフレームワークや水平垂直思考等、経営学の基礎を講義し、経営感覚を身につける。またシャーシャルビジネスのケースとしてグラミン銀行のモデルを取り上げる。	4月17日
3	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(3)	主婦からの介護事業所設立	合同会社ディアマインド 濱田代表	専業主婦からどのような経緯で起業することになったのか、デイサービス複数経営の現状(労働人員、教育体制、組織、現場での嬉しい事例など)についての話を聞き、未経験からの事業所設立について考え	4月24日
課題の中間提出(ソーシャルビジネスモデルのレポートを提出 ※図式含めA4 2枚)					
4	介護保険の歴史/グループワーク(4)	介護保険の歴史	日本介護支援専門員協会 柴口副会長	介護保険制定からの変遷を学び、介護現場の実情や課題について当事者意識、社会問題意識を持つ	5月1日
5	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(5)	次世代委員会の取り組み	社会福祉法人 楽天堂 恵風苑 鶴田部長	特別養護老人ホームにおける次世代の介護福祉を作る取り組み、ビジョンについて考える、介護事業者間の連携例	5月8日
6	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(6)	セーフティネットの構築と経営のバランス①	社会福祉法人 宝満福祉会 理事長 白水誓一	セーフティネットの構築の為の持続可能な経営と、多角的な視点より福祉を捉えることで内部統制について考える。また人材育成とビジョンについての関係性について学ぶ	5月22日
7	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(7)	セーフティネットの構築と経営のバランス②	社会福祉法人 宝満福祉会 理事長 白水誓一	セーフティネットの構築の為の持続可能な経営と、多角的な視点より福祉を捉えることで内部統制について考える。また人材育成とビジョンについての関係性について学ぶ	5月29日
課題の中間提出(ソーシャルビジネスモデルのレポートを提出 ※図式含めA4 3枚)					
8	福岡市における高齢者政策	高齢者政策とこれからの事業創造について	福岡市保健福祉局 高齢社会政策課長 平田 日本政策金融公庫 福岡支店	政策における事業創造の役割 / 日本政策金融公庫からの経過講評	6月5日
9	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(8)	労働問題・社会的地位の改善	株式会社ケアリング 岡部専務取締役	コムンショックと今後の介護業界の展望、介護職員の社会的地位について考える	6月12日
10	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(9)	NPO法人の持続的経営と組織	特定非営利活動法人 地域福祉を支える会 そよかぜ 浜崎理事	地域事業と介護事業の2輪による持続的経営ケーススタディと課題	6月19日
11	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(10)	介護業界イメージ払拭	株式会社さくら介護グループ 介護管理部 部長 奥村光恵	さくら介護の紹介、社内研修、コンセプト、地方特化で始める意義と介護業界で今後実施していきたいことを聞き、介護福祉の方向性を考える	6月26日
12	高齢者福祉事業ケーススタディ/グループワーク(11)	多様な介護施設の比較	株式会社九州高齢者住宅情報センター 代表取締役社長 飯尾幸一	複数の介護施設を比較し、施設毎の具体的なマーケティング戦略を考察する	7月3日
13	プレゼン作成準備グループワーク	グループワークとフィードバック	株式会社ウエルモ 代表取締役 鹿野佑介	事業計画プレゼン作成準備グループワーク	7月10日
14	プレゼンテーション	ソーシャルビジネスモデル発表	日本政策金融公庫 福岡支店	事業計画概要の発表	7月17日
15	プレゼンテーション	ソーシャルビジネスモデル発表	日本政策金融公庫 福岡支店	事業計画概要の発表	7月24日

※登壇者の予定が一部調整中の為、担当者が変わる可能性があります。